

実施方針

立地適正化計画と連携した  
地域公共交通ネットワーク  
づくり

役割の明確化による効率的な  
地域公共交通ネットワーク  
づくり

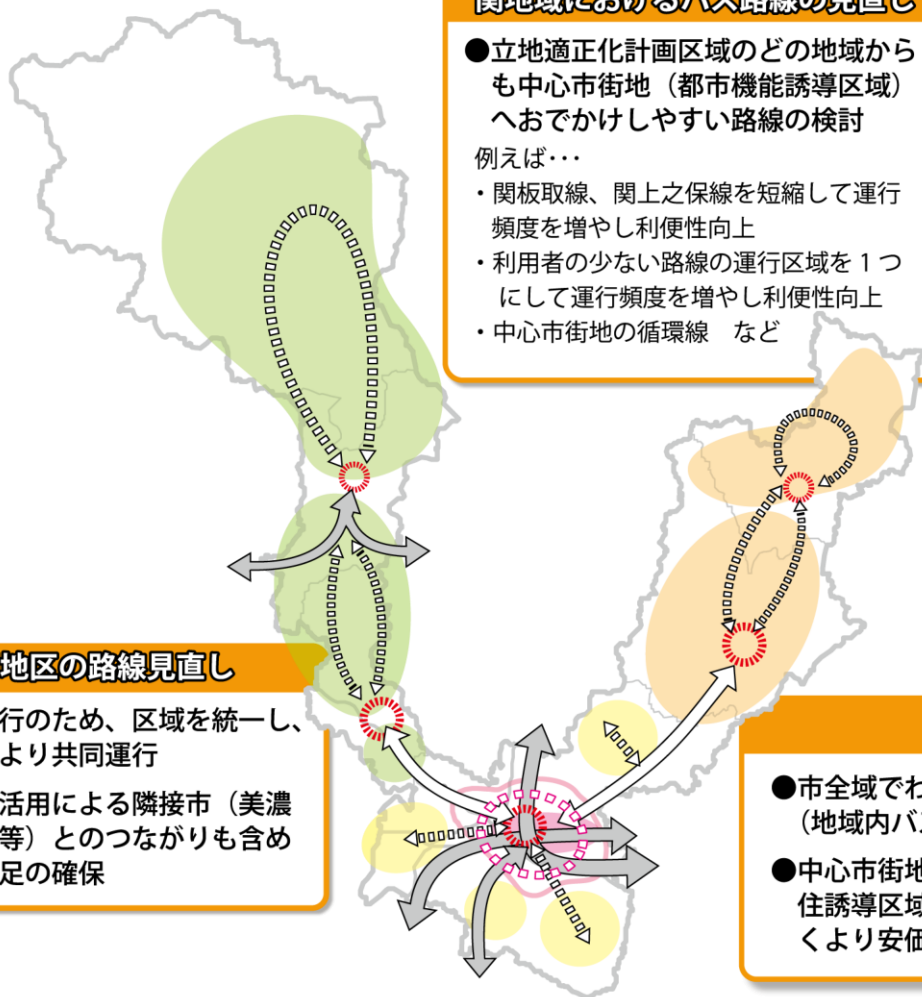
市民にわかりやすい  
地域公共交通ネットワーク  
づくり

検討事項

本業務では、関市立地適正化計画と連携した路線の見直し、運賃制度について検討します。

関地域におけるバス路線の見直し

- 立地適正化計画区域のどの地域からも中心市街地（都市機能誘導区域）へおでかけしやすい路線の検討
- 例えば・・・
- ・関板取線、関上之保線を短縮して運行頻度を増やし利便性向上
- ・利用者の少ない路線の運行区域を1つにして運行頻度を増やし利便性向上
- ・中心市街地の循環線 など



【凡例】

- ⇄ 幹線交通
- ◁○○○○▷ 支線交通 (地域内交通)

中山間地区の路線見直し

- 効率的な運行のため、区域を統一し、複数団体により共同運行
- 岐阜バスの活用による隣接市（美濃市、山県市等）とのつながりも含めたくらしの足の確保

運賃制度

- 市全域でわかりやすい統一運賃（地域内バスは有償化）
- 中心市街地（都市機能誘導区域・居住誘導区域）へ行く際は他地域へ行くより安価になる運賃体系を検討

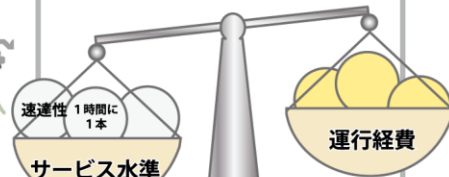
検討手法

上記のような地域公共交通のあり方（将来公共交通像）を検討するため、サービス水準と運行経費の両面から分析を行います。

バスのサービス水準の検討

- GISを活用し、アクセシビリティ評価を行い、見直し路線による目的地への行きやすさを確認

凡例	0 - 5分	15 - 20分	30 - 45分
	5 - 10分	20 - 25分	45 - 60分
	10 - 15分	25 - 30分	



運行経費の検討

- 検討のプラットフォームになる「バスマップ」をGISにて作成
- バスマップにより、路線の見直しや運賃体系の応じた運行経費をシミュレーション

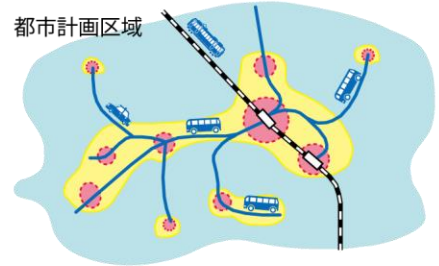


# 1-1 実施方針

## ① 提案にあたっての背景と視点

- 我が国では、今後のさらなる人口減少・少子高齢社会に向け、地域公共交通と連携してコンパクトなまちづくりを進めるため、平成26年度に「都市再生特別措置法」及び「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部が改正されました。
- これに伴い、立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の連携による『コンパクト+ネットワーク』の実現が推進されています。
- 本計画は、まちづくりと連携した公共交通のネットワークの構築に向けた中長期的なビジョンとなるものであり、まちづくりの課題や移動ニーズを踏まえて策定します。

### 「コンパクト+ネットワーク」のイメージ



- 都市機能誘導区域：医療・福祉・商業等の生活に必要な施設を誘導
- 居住誘導区域：住宅を誘導し、人口密度を維持

### 【関市の地域公共交通の現状】

(市全域)

- ・ 運行経費が2億円以上！一方で利用者は減少傾向
- ・ 郊外団地では高齢化が進み、バスの必要性高まる
- ・ 自動車依存度が高い（関市：約75%、中京都市圏：約62%）

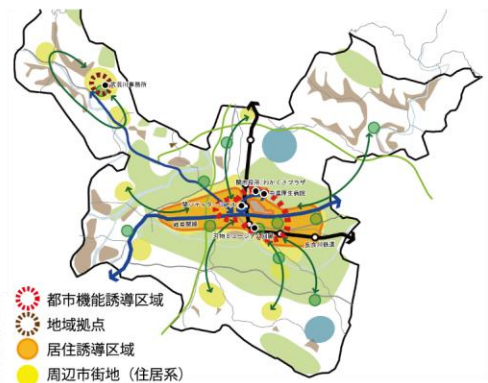


## ② 業務を実施する上での3つのポイント

### ポイント1 立地適正化計画と連携した地域公共交通ネットワークづくり

- 本市では、将来（平成52年）に中心市街地において著しい人口密度の低下が予想され、その対策が必要となっています。一方、郊外団地は将来的にも人口密度が一定割合維持されると予測されます。
- このため、中心市街地の魅力を高めるまちづくり施策と連携した地域公共交通ネットワーク及び運賃体系の構築を目指すとともに、郊外団地と中心市街地がつながりについても検討します。

関市立地適正化計画における将来都市像



### ポイント2 役割の明確化による効率的な地域公共交通ネットワークづくり

- 現在は路線が冗長、路線の競合等により、必ずしも効率的な運行になっていません。そのため、各輸送モードの役割分担を明確にし、効率的な運行を行うことでより利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を目指します。

### ポイント3 市民にわかりやすい地域公共交通ネットワークづくり

- 本計画は今後10年間の地域公共交通のビジョンとなる計画であり、その実行に地域住民の理解・協力が不可欠となります。
- そのため、市民にとってわかりやすい地域公共交通ネットワーク、運賃体系を目指すとともに、計画についても市民に読んでもらえるわかりやすさを大切にします。

業務工程表(案) (※赤文字は追加提案)

業務内容	平成28年度							平成29年度		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>(1) 関市の地域特性</b>										
○人口特性(人口構造、動向、流動)	.....									
○主要施設の立地状況	.....									
○上位計画及び関連計画 等	————									
<b>(2) 公共交通の現状分析</b>										
○公共交通の運行状況(路線、運行本数、車両等)	.....									
○公共交通の利用状況	————									
○収支状況	————									
<b>(3) 公共交通の利用実態及びニーズに係る調査・分析</b>										
①関シティバスの乗降調査・利用者アンケート		○								
②岐阜バス営業路線利用者OD分析										
③市民意見交換会運営支援(5地域×各1回) +3地域		●●●●●	●●●●●							
<b>(4) 地域公共交通のあり方の検討</b>										
<b>(5) 地域公共交通網形成計画案の作成</b>										
<b>(6) パブリックコメントの実施支援</b>								1ヶ月間(30日以上)	意見整理・分析	
<b>(7) (仮)関市公共交通活性化協議会会議の運営支援(4回)</b>		★		★	★		★			★
<b>(8) 打合せ協議(5回)</b>	●		●	●		●				●
● 成果のとりまとめ(業務報告書、本編、概要版)		○		○					○	○
参考 立地適正化計画策定スケジュール(予定)	都市機能誘導区域・居住誘導区域(案)の作成(~7月末)			住民説明会(5回予定)			計画書とりまとめ			

**(仮)関市公共交通活性化協議会会議の検討内容**

**【第1回】現状・課題**

- ・地域特性・現状分析・課題の確認
- ・OD調査、市民意見交換会の実施について

**【第2回】地域公共交通のあり方の検討**

- ・調査結果の確認
- ・調査結果を踏まえた課題の整理
- ・地域公共交通のあり方の検討

**【第3回】事業・実施主体の検討**

- ・地域公共交通のあり方の確認
- ・事業・実施主体の検討

**【第4回】評価指標・スケジュールの検討**

- ・事業・実施主体の確認
- ・達成状況の評価指標、スケジュールの検討

**【第5回】パブリックコメントの意見反映**  
(※パブリックコメントの状況に応じて開催)

- ・パブリックコメントの意見確認及び反映方法
- ・計画書・概要版の確認